

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島真成

昨年から顕著になった天候不順ですが、今年も寒暖が目まぐるしい気候になっています。皆さま、お変わりございませんでしょうか。

さて、いよいよ墓地整備事業も締めくくりの整備に着手することになりました。本堂手前の墓地入口に入ってすぐ右手、地面が土の一带の整備です。墓地整備事業は雨水と土ぼこりによる近隣への迷惑回避を契機として平成七年から始まりました。はやいもので、もう十五年ですから、長期事業と言っているでしょう。排水設備を設け、土ぼこり防止対策を施すといった基礎工事、休憩所と水屋の新設。そして、お墓の移動では皆さまのご協力をいただき、新墓地をふやすこともできました。最終的には二十年近い大事業になりそうです。

今回の最終整備では新たに蓮池を作る予定です。ご存じのように蓮は極楽浄土のシ



ンボル。泥の中から綺麗な花を咲かせる仏様の花です。楽しみにしてて下さい。もう間もなく夏が訪れます。どうぞくれぐれもご自愛ください。

BAISOVIN NEWS AOYAMA

梅窓院通信

施餓鬼号

No.47
2010/06/01

青山

施餓鬼棚と施餓鬼幡

新宿区 香蓮寺住職

勝崎裕彦 上人

施

餓鬼行事のメインは施餓鬼棚を設けることである。施餓鬼棚の備え付け、飾り付けは、お盆行事の仏壇や盆棚の盆用意・盆支度と同じように、心を込めて準備仕度する最要のことである。施し合い、分かち合う施餓鬼会の尊い、うるわしい心根の眼目は、施餓鬼棚を心行き届かせてきちんと整えることにはじまるのである。

胡瓜・茄子・ナス・ニンジン・トウモロコシ・インゲンなどの野菜類は三方上に丁寧と並べて、積み重ねて供え、西瓜をどっしりと供えるのもよい。また施餓鬼米・施食米と称される供養米も心のこもった大切な供え物である。そして中央には、炊き立てのご飯や汁物・吸物等を盛った靈膳を置く。

施餓鬼棚は施餓鬼壇ともいうが、厳密には、本堂の本尊正面の外陣に設置される五如来の祭壇である五如来壇に向かつて右側の外縁に設える。しかし各寺院の堂内のありように応じて安置の仕方も変わり、本堂内陣位牌壇上に設えたり、五如来壇と施餓鬼棚を併せて準備する場合もある。

もとよりこうした供え物を受ける三界萬靈位や新亡精霊位の位牌を安置することは当然である。そして、餓鬼道の一切の衆生に対して、おいしい食べ物、おいしい飲み物をやさしく分かち与えることが目的である施餓鬼会であるから、餓鬼道衆生位牌を安置することも肝心である。

本来、五如来さまは画像を安置するのであるが、一般には、木製のもの、布製のもの、あるいは紙で作った幡に尊号を浄書したものを奉安する。これを施餓鬼幡といい、「せがきばん」と読むが、広くは「せがきばた」と称している。紙で製作する場合は、青(緑)・黄・赤・白・黒(紺)の五色の色紙を重ねて折り切りして作るもので、五輪幡とか真幡ともいう。また、持国天(東)・增長天(南)・広目天(西)・多聞天(北)の四方四天王を祀る四天王幡・小幡を飾ることもある。この小幡

には、「若人欲了知、三世一切仏、応觀法界性、一切唯心造」の「破地獄偈」を書く。

幡は、仏・菩薩の威力・威徳を表し、仏堂・仏殿を荘嚴するもので、仏教の大切な標示物の一つである。「ばん」と音で読み、幡・幡とも書くが、訓で読めば「はた」で、実はサンスクレット語のパターカーの音を写し取った読みであるとする説がある。もちろん音写語としては波多迦などと記すが、『倭名抄』などに記される「波多」の読みは、仏典の訳語を通じて、百濟などの古代朝鮮半島を経由して伝えられたものともいう。なお荘嚴具としては、幡ははたのほりで、はたはこの幢とは区別される。ちなみに幢のサンスクレット語はドウヴァジャであり、これも音の似通いをはるかに連想させるのである。

施がき棚の茶を汲みかへる娘かな(一茶)

小林一茶は日常の克明な記録を俳句化して日記とした。最晩年の『九番日記』からの一句であるが、私は、茶を取り替える娘さんの姿に、慈しみ悲れむ慈悲の仏心を感じ取りたい。まさに施餓鬼会の心を、そこに読み取りたい。(大正大学教授)

増上寺 御忌詠唱奉納大会 4月4日(日)

梅窓院詠唱会の皆様が詠唱とお舞を奉納しました。



練行列 4月6日(火)

増上寺御忌法要に住職も随喜、練行列されました。



第49回 念仏と法話の会 2月4日(木)



法要の様子。

平成22年 春彼岸法要 3月21日(日)



▲二回目になる物産展も沢山の方に来て頂きました。

お盆 七月十三日(火)

盂蘭盆会法要 — 午前十時半 — 本堂

御棚経 七月十三日〜十六日

※新盆で希望する方のみ

なお、棚経については同封の別紙「お盆について」をご覧ください。また、不明な点がありましたら梅窓院法務部へお問い合わせ下さい。

お施餓鬼 七月二十二日(水)

施餓鬼会法要(塔婆回向) — 午前九時 — 祖師堂

※塔婆のお申込み状況により、時間を変更する場合があります。

別時念仏会 / 半斎供養 — 午前十一時 — 本堂

お斎とぎ(お食事を頂きます) — 午前十二時 — 観音堂

御説教 — 午後一時 — 祖師堂

講師 宮城教区 往生寺住職 豊嶋 瑞俊 上人

大施餓鬼会法要 — 午後二時 — 祖師堂

※長時間にわたる法要ですので、途中からの参加も可能です。

※塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前九時からの法要で行います。

※全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。

お盆を迎えるにあたって

今年もお盆の季節がきました。

お盆の供養は餓鬼道におちているかもしれない先祖の供養のためとされており、お盆には、ご家族そろって先立たれた精霊を心からお迎えし、一家揃って、お念仏をお称えするようにしていただきたいと思えます。

そして、お念仏の信仰や、先立ちし方々から頂戴した連綿とした命のつながりなどを話し合う機会をもっていただけるならば、きつとすばらしいお盆となるに違いないと思えますし、法然上人のお示しくくださった、お念仏をお称えして阿弥陀さまにその大切な方々をおまかせするということを是非、実践して頂けたらと思います。(法務部)

回向料のお申込み方法とお知らせ

◆お盆回向お申込み方法

回向紙 御回向料 …… 1枚 / 3,000円

- ・同封の回向紙にご記入の上、受付へお持ち下さい。
- ・一枚につき、一霊のご回向とさせていただきます。

御塔婆 御回向料 …… 1本 / 7,000円

- ・お塔婆をご希望の方は、直接受付までご連絡下さい。

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆 御回向料 …… 1本 / 10,000円

- ・同封のハガキにご記入の上7月7日(水)必着でお申込み下さい。
- ・施餓鬼会法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いは出来ません。)

「せがき子どもひろば」のご案内

本年もお施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。保育士による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒に参加ください。



昨年のこどもひろばの様子

※子どもひろばに関する

お問い合わせは青山文化村まで。TEL 03-3404-8588

法堂落慶

梅窓院に新しいお堂、法堂ほうどうが完成しました。

少人数のご葬儀や法事などに利用し易いお堂が欲しい、

こうした檀信徒の皆さまからのご要望に応え、本堂のある寺院棟の四階の一部を改装し、内仏の阿弥陀様をお迎えしてお堂にしました。

小さいながら充実した荘厳のお堂で、皆さんのお役に立つことを願っています。

なお、法堂はいつでもお参り頂けますが、葬儀・法要を行っている場合がありますので、お参りをご希望の方は一度受付でお声を掛けて下さい。



阿弥陀如来坐像をお祀りした荘厳。
八角の天井には瑠璃・螺鈿で飾られた二十五菩薩の梵字が並んでいます。

荘厳のご案内

法堂の本尊はお内仏だった阿弥陀如来坐像を新たに金箔を施し、遷座いただきました。

天井は本堂と同じ二十五菩薩来仰図を天蓋型天井というかたちで展開しました。

二十五菩薩は極楽往生を願う念仏者を阿弥陀三尊とともに迎えて下さる仏さまたちです。この菩薩さまたちをあらわす梵字を瑠璃と螺鈿工法で描いた繊細かつ優雅な八角の格天井になっています。制作いただいた工芸作家、先生の

核家族化がいわれて久しいですが、会葬者の人数に合う広さの式場をとということで、30人ぐらいまでを想定した式場の荘厳を心掛けました。



4階エレベータホールの左手が法堂。
法堂ではスリッパにお履き替えいただいています。



瑠璃・螺鈿加工の

二十五菩薩梵字格天井

工芸作家

全面に瑠璃加工を施し、二十五菩薩をあらゆる梵字を螺鈿で表現しました。法堂の天井に高さに合わせて、圧迫感がないように繊細で軽やかな色づかいを心がけ、まわりに配した天女の舞とともに微風吹動、お浄土の調べが聴こえてくるような雰囲気仕上げました。八角形は天蓋をイメージし、天蓋型天井という新しいスタイルを提案しています。



本尊



二十五菩薩来迎図

① 無辺身菩薩
⑥ 三昧王菩薩
⑪ 山海慧菩薩
⑬ 徳蔵菩薩
⑭ 普賢菩薩

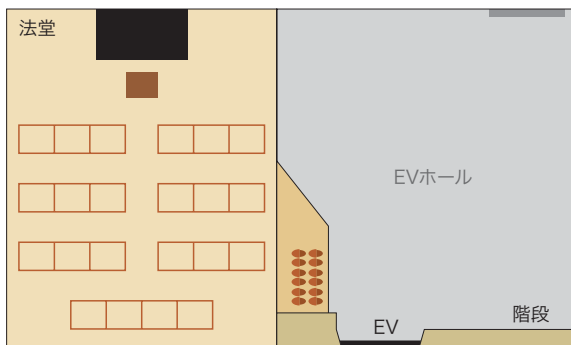
② 大威徳王菩薩
⑦ 日照王菩薩
⑫ 光明王菩薩
⑰ 陀羅尼菩薩
⑳ 薬上菩薩

③ 白像王菩薩
⑧ 衆宝王菩薩
⑬ 金剛蔵菩薩
⑱ 虚空蔵菩薩
㉓ 薬王菩薩

④ 大自在王菩薩
⑨ 月光王菩薩
⑭ 金蔵菩薩
⑲ 獅子吼菩薩
㉔ 勢至菩薩

⑤ 自在王菩薩
⑩ 華嚴王菩薩
⑮ 宝蔵菩薩
⑳ 文殊菩薩
㉕ 観音菩薩

本尊を正面にして見上げた順に並べてあります。



法堂の見取り図

設備のご案内

葬儀の場合、30人まで参列できる椅子席になっており、控室や浄斎会は5階の客殿をご利用いただけます。ご会葬の皆さまも5階の客殿をご利用いただけます。祭壇については標準的な飾りと花祭壇(写真参考)が選ばいただけます。ただし指定葬儀社となりますので、予めご了承下さい。



上/葬儀での祭壇の一例 下/花祭壇の一例

ご利用の仕方

受付にお電話で、またはご来寺いただき、ご希望の旨をお申し付け下さい。

また見学は随時可能ですので、行事等のついででもご覧いただけます。ただし、葬儀・法要時の見学はご遠慮いただいております。



こじんまりした空間に合わせて、椅子も座り易いよう低めになっています。

ボールペン、はさみ、ホッチキス……、こうしたどの家庭にもある文房具の卸業を四代続けている会社がある。知る人ぞ知る会社、東京クラウンである。同社の社長でもあり、梅窓院の檀家でもある さんにお話を伺った。

◆四代にわたり文房具を商っていると伺いましたが、創業はいつごろになるのでしょうか。

社長(以下) 初代は曾祖父になるのですが、北九州の小倉で明治維新を迎え、武士では食えなくなり、筆と硯と墨の商いを初めたのがスタートだと聞いています。

◆筆や硯ですか、なるほど当時の文房具ですね。九州からスタートして、今は本社が秋葉原と聞きますが、その前は青山に本社が在られた?

はい、ブルックスブラザーズの向かい側で、当時は自宅も青山にありました。

◆いつ頃のことでしょうか?

昭和22年です。新婚間もない両親が文具の卸という形で創業したのですが、母方の実家も台湾で文具の卸をやっていて、似た環境に育った二人の自然な成り行きだったのかもしれませんが。

そして、平成元年に先代である父が、自宅を青山から世田谷に移しました。その時に梅窓院さんにお墓を求め檀家にさせていただいたのですが、父と母はそれ以前からお墓は青山の梅窓院さんと決めていたようですね。

◆そのお父様は平成20年に亡くなられましたが、その少し前にお父様が梅窓院に立派な七条のお袈裟を寄進され、住職は大変喜んでいました。ありがとうございます。

いえいえ、父は信心深かったですから。それに祖父も南無阿彌陀仏の名号を百万遍写経していましたし、母は毎週父の墓参りをしている。

それに息子は二週間に一度は必ずお墓の掃除している。一番不信心な私がこうして取材を受けるのは実はかなり心苦しいのです……(笑)。

◆ですが、昭和24年の青山生まれの青山育ちですから、この梅窓院は身近なお寺だったのではないですか。

それは格好の遊び場でしたね。毎日のように遊びに来ていました。懐かしい思い出です。

◆また、娘さんが結婚されるとか。この『青山』が発行される頃にはもうお嫁さんですか。

はい、埼玉の熊谷にある浄土真宗のお寺に嫁ぎます。妻の実家が浅草にあるやはり浄土真宗のお寺ですから、これも縁ですね。

◆そうですね、家はお寺と縁の深いご一家なのですね。さて、会社の話を伺いたいのですが、資料を拝見すると、戦後に文房具事務機の総合卸商社という現在の形にされたお父様から、昭和62年に社長を任されていますね。そしてその後、 さんの時代に会社が大きくなっていますね。

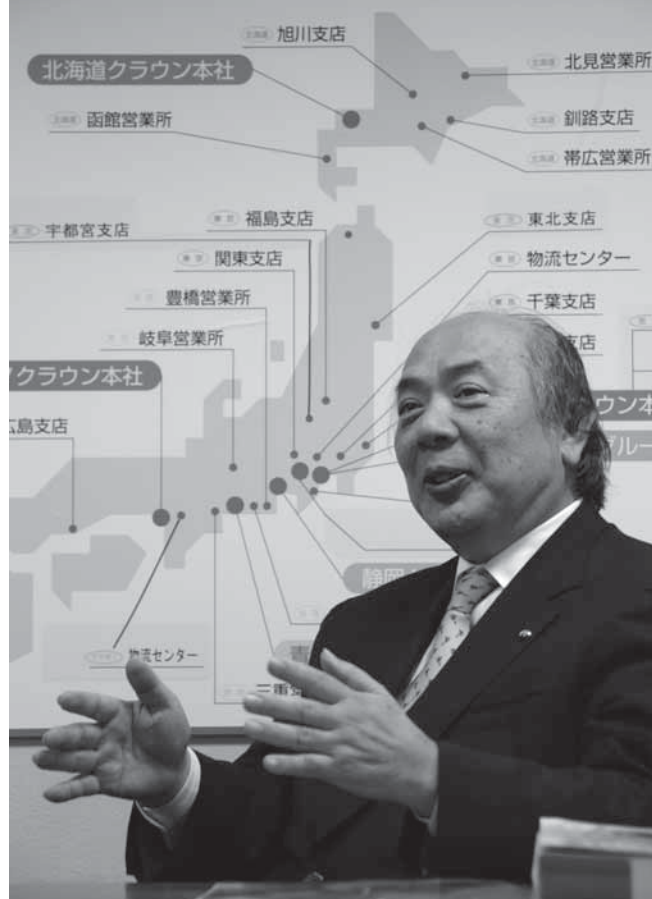
父が退任してしばらくしてバブルが崩壊したのですが、文具業界も大きく変化し、全国の文具店がこの10年で3万店から1万2千店に、文具卸業者も1千社が2百社にまで減っています。



先代であり、父でもある 氏の肖像。

そうした中、平成5年から当社は毎年地方の文具卸会社を合併したり、承継したりしてすでに15社を数えています。こうしたことができたのは当社が当たり前のことを当たり前にしてきたからだと思います。

経営が芳しくなくなった会社の多くは本業以外の事業などに手を出したところが少なくありません。



敢えて誤解を恐れず言えば、私は「お客様第一よりは社員第一」、「うちはアマチュアの会社である」という姿勢を大事に合併や承継を「トライ トゥギャザー」のモットーで進めてきました。

幸い、それがうまくいっているということですかね(笑)。

◆社員を大切に、みんな一緒に挑戦するということですね。

それに「家内ご機嫌」も大事ですね。家庭が円満であることが、仕事での活力につながる。

うちは社内結婚が多いのですが、良いことだと思っています。

◆さんの会社には誕生日休暇があると聞きましたが?

ええ、誕生日は特別休暇で土日祝日と重なった時は前倒しして、さらに1万円の誕生日プレゼント付きです。それで家族でご飯を食べてもらえれば何よりですから。

◆こうしてお話を聞いていると、人と人のつながりを大切にされているということなのですね。

ネット化が当たり前になりつつありますが、今でも当社の基本は対面を大切にするルートビジネスです。どんなことでも、人と人の直接的な繋がりを見直す時が来ているのではないかと感じています。

◆そうですね、梅窓院もみなさんの交流の為に毎年行事を増やし続けています。

人が集まれば色々な縁が生まれますからね。お寺の果たす役割はますます大切なものになりますね。

◆今日はお忙しい中お時間をいただき、ありがとうございました。

昭和24年 港区青山生まれ。獨協大学経済学部卒業。安宅産業勤務を経て父の経営する東京クラウンに入社。現代表取締役社長。また全国に広がるクラウングループの代表取締役社長も務める。東京文紙事務機卸協同組合理事長など業界の要職も歴任している。同社勤務の長男 氏はフリスビーの前世界チャンピオン、現日本チャンピオン。

株式会社東京クラウン

昭和22年関東文具有限会社として営業開始。文具事務用品、事務機器の総合卸業で、全国にクラウングループ企業を展開している。東京クラウンの資本金は約1億5千万円、従業員は190名。



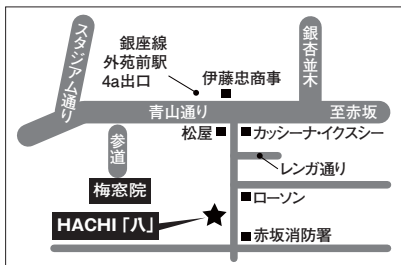
青山散歩道

「八」HACHI

美味しいお米と鮮魚のお店

昨年末オープンしたばかりの居酒屋「HACHI」。

千葉出身のご主人のこだわりは同じく千葉産の食材たち。お米は農家から直接玄米の状態でご寄せ、毎朝店で精米している。炊きたてのご飯におみそ汁、数種類の中から選べる惣菜の定食風ランチ。
この日頂いたのはサーモンの西京焼。



営業時間／ランチ 11:30～14:00 (L.O.13:30)
ディナー 17:30～23:30 (L.O.23:00)
定休日／日曜日・祝日 席数／約30席
住所／東京都港区南青山2-18-2
竹中ツインビルA館B-1
TEL／03-3408-0088



▲ランチは850円。毎日数種類のおかずの中から好きなものを選べます。



◀「八」の書はご主人直筆。

シンプルだがどこかほつりと温まる家庭の味だ。魚はその日一番いいものを仕入れる為、メニューも毎日変わる。

「美味しいものを、わいわい、リーズナブルに」と語るご主人の手柄が親しみもてるインテリアからもよく伝わってくる。

土日は貸切営業可能、法要の後席など承ることもあるそうなので是非一度ご利用してみたいかがでしょう。

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○句碑前の下萌に座す鳥晴れて

◎入選

- 春がすみ介護施設の時報鳴る
- 幼名で呼び合ふ仲や春の旅
- 帰る娘の車をつつみ春夕日
- 風光る一望千里山は雪
- 参道のざわわざわわと竹の秋
- 友逝けり唇のけふは寒の入り
- 清流の鯉の眼凛と春動く
- 鳥獣の嘆き悲しむ涅槃絵図
- 温暖に開花はやまる桜かな

◎選者詠

○差し潮のにはひ夜をくる桜かな

大崎 紀夫

○ワンポイントアドバイス

芭蕉の有名な句に「此の秋は何で年よる雲に鳥」があります。上五中七と続いて、中七のところで切れ、下五に「雲に鳥」を付けた「句一章」の作り方で「雲に鳥」の付け方のみごときは多くの人が賞讃するところです。今回の遣迎子さんの「鳥晴れて」もそのような付け方で、これで鳥の景が浮き上がり、みごとです。中七までにあることを詠み、さて下五をどうしようかというとき、ここが勝負だと思って、いろいろ工夫してみてください。

投句募集

今回は「夏の季語」でご自由にお詠み下さい。7月6日を締切り、9月発送の『秋彼岸号』にて発表致します。住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室
電話03-5368-1870

食は命

第三十九回

食養研究家

武鈴子

疲労回復にうってつけ 「夏みかん」

酸っぱいものがニガテな人は、夏みかん、と聞いただけで生つばが出てくるといいます。昔は顔に汗しながらも酸っぱい夏みかんを食べたものです。夏橙とも書き、二月頃に成熟しますが、その頃はまだまだ酸味が強い。しかし、初夏の頃までそのまま枝におくと甘味がのってきておいしくなります。夏みかんの特徴は、酸っぱさのもとであるクエン酸が豊富なことです。温州みかんの2倍もあります。クエン酸はエネルギーを作り出して、老廃物を体内に残さないようにするので、疲れやすい夏場に向けての疲労回復にはうってつけの果物です。ビタミンCも豊富で、中くらいの大きさなら半分で一日の必要量の50%が満たされるほどです。

果実はジュースやサラダなどにして生食で摂るのが一番。皮は、マーマレードにすると個性的ななかなかの味わいです。手作りマーマレードたっぷりの朝食で夏の疲れを防ぎましょう。皮はまたきれいに洗って手足や皮膚を拭くと、肌つやがよくなるといいます。漢方では、皮を陰干しにしたものは、夏皮と呼び、煎じて飲めば胃を丈夫にし、お風呂に入れば、肩こり、腰痛、リウマチ、神経痛に効くといわれています。

マーマレードの作り方

①夏みかんに十文字に切れ目を入れて皮をむき、1kg分を細切りしてたっぷりの水に一晩つけておく。②身の部分800gに、砂糖の半分量350gをまぶして一晩おく。③①の水気をきって鍋に入れ、②と水3カップを加えて火にかける。④沸騰してきたらアクをとりながら30分間煮る。⑤④に残りの砂糖を加えて弱火でしばらく煮つづける。水分がなくなり、しゃもじですくってポトリと下に落ちるようになったら火を止める。

行事予定

第50回 念仏と法話の会

6月10日(木)
 受付開始 午前12時～
 別時念仏／法話／茶話会
 法話「念仏と禪」
 川添 崇祐 上人



盂蘭盆会法要

7月13日(火)
 午前10時半より 本堂
 ※詳細は3面をご覧ください。

施餓鬼会法要

7月21日(水)
 午前11時より 本堂
 ※詳細は3面をご覧ください。

お知らせ

法堂完成報告

寺院棟4階に「法堂(ほうどう)」が完成致しました。年忌法要やご葬儀などご利用希望の方は梅窓院までお問い合わせ下さい。詳細は本紙4、5ページの特集記事をご覧ください。

郡上おどり会場変更のお知らせ

今年度より郡上おどりの会場が変更になりました。詳細は別紙チラシをご覧ください。

秋彼岸写真展開催

新年号よりお伝えしておりました写真展の応募要項を同封致しました。是非皆様ご参加下さい。

発行／梅窓院
 発行日／平成22年6月1日
 発行人／中島 真成
 編集／青山文化村
 住所／〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
 電話／03-3404-8447
 F A X／03-3404-8446
 ホームページ／<http://www.baisouin.or.jp/>
 E - M a i l／jodo@baisouin.or.jp
 題 字／中村康隆前浄土門主
 総本山知恩院第八十六世門跡

平成22年度 前期 仏教講座のご案内

全講座 午後6時～8時 受講料 無料 場 所 祖師堂

講 題／古都洛陽と仏教 講 師／阿川正真先生 浄土寺住職 大正大学講師	●第2回… 8月11日(水) 北魏を中心に ●第3回… 9月14日(火) 隋・唐を中心に
講 題／『四十二章経』を読む 講 師／新井俊定先生 天然寺住職 大正大学出版会主管	●第2回… 7月1日(木) 巧みな比喩 ●第3回… 9月7日(火) 生きた教訓
講 題／大乘仏教を読む 講 師／勝崎裕彦先生 香蓮寺住職 大正大学教授	●第1回… 6月17日(木) 般若経の世界① ●第2回… 7月29日(木) 般若経を読むI —常啼菩薩の教え— ●第3回… 8月26日(木) 般若経を読むII —法上菩薩の教え—
講 題／法然上人のみ教え—『選択集』を読む— 講 師／林田康順先生 大正大学准教授 大本山増上寺布教師 慶岸寺副住職	●第3回… 6月21日(月) 『選択集』第一章② —浄土門—
講 題／ブータンスタイル—幸福のカたち— 講 師／本林靖久先生 真宗大谷派僧侶、 大谷大学・佛教大学等講師	●第2回… 6月4日(金) 衣・食・住 ●第3回… 8月6日(金) 仏教世界観

我が家の宝物!

ちゃん (3カ月)

投稿者より

昨年12月29日に第一子が誕生しました。名前は。九品寺にとっては、約100年振りの女の子です。待望の初孫に、息子3人を育てた住職は、可愛くて仕方が無い毎日です。(祖父・)

編集部より

昨年梅窓院より自坊・秋田に戻られた上人のお子さんです。久しぶりに元気なお顔を拝見できました!!

お写真大募集!!

お孫さんと一緒のお写真と推薦者のおじいちゃん・おばあちゃんのコメント(30～150字程度)を青山文化村までお送り下さい。お孫さんのお名前、お年も忘れずに。(お送り頂いたお写真は返却できませんので予めご了承下さい)掲載させて頂いた方には梅窓院煎餅を差し上げます。

〒107-0062 港区南青山2-26-38 青山文化村「我が家の宝物」募集係

